

## 会議結果のお知らせ

令和6年度第1回宮古市地域公共交通会議を、次のとおり開催しました。

令和6年7月8日

宮古市地域公共交通会議

- 1 開催日時  
令和6年6月26日（水）午後1時30分から午後3時00分
- 2 開催場所  
市民交流センター1階 会議室1・2
- 3 議題
  - (1) 協議事項
    - ア 宮古市地域公共交通計画の評価について
    - イ 地域内フィーダー系統確保維持計画の策定について
    - ウ 門馬共助型交通（自家用有償旅客運送）の登録変更について
  - (2) 報告事項
    - ア 中学生フリー定期券交付実証事業について
- 4 会議の概要  
令和5年10月に策定した宮古市地域公共交通計画の評価として、これまで実施してきた取り組み及び今後取り組むべき課題を説明した。  
地域内フィーダー系統確保維持計画の策定について合意された。  
門馬共助型交通（自家用有償旅客運送）の登録変更について合意された。  
詳細は、別添議事録のとおり。
- 5 問い合わせ先  
宮古市地域公共交通会議事務局 宮古市企画部公共交通推進課  
電話0193-62-2111 内線4512

## 令和6年度第1回宮古市地域公共交通会議議事録

- 1 開催日時  
令和6年6月26日（水）午後1時30分から午後3時00分
- 2 開催場所  
市民交流センター1階 会議室1・2
- 3 出席委員  
多田康（会長）、佐々木隆文、田頭勇人、松野文一、鈴木一成、久保田容子、久保田香奈枝、長鈴秀夫、藤田茂、小野寺哲、去石一良、大村学、村上佳祐、小野寺利幸
- 4 事務局等出席者  
（宮古市）公共交通推進課 公共交通推進係長・根市昇、主事・山崎千穂
- 5 傍聴者  
なし
- 6 議事等
  - （1）協議事項ア 宮古市地域公共交通計画の評価について  
事務局より資料1に基づき説明。地域公共交通計画の評価について了承された。  
【意見・質問等】
    - ・P.5 市内公共交通機関に対する利用環境の満足度の指標について、何を基に算出された数値か。（委員）  
→令和5年度市民意識調査のうち、公共交通が利用しやすい環境の満足度を基にしたもの。満足100点、やや満足75点、どちらでもない50点、やや不満0点、不満0点とし、各回答率を掛け、合計値を100で割った平均値である。（事務局）
    - ・P.4 エコ通勤の推進について、目標値の設定をしているか。（委員）  
→目標値は定めていない。  
実施後にアンケートを実施しており、実施当初は批判的な意見も多かったが、近年好意的な意見が増えている。（事務局）
  - （2）協議事項イ 地域内フィーダー系統確保維持計画の策定について  
事務局より資料2に基づき説明。計画案について合意された。  
【意見・質問】
    - ・19 利用者等の意見の反映状況について、令和2年1月にアンケート調査を実施しているとなっているが、どのような意見があったか。また、アンケート実施よりかなり時間が経過しているのではないか。（委員）  
→住民の、誰もが利用できる交通機関が欲しいとの意見を反映させ、患者輸送バスから誰もが利用できる地域バスへの転換を実施した。また、この経過を示すため、「令和2年1月にアンケート調査を実施」と記載した。患者バスから地域バスに転換する際には、住民説明会を実施している。（事務局）  
→ 新里地区、川井地区、田老地区の順に患者バスから地域バスに転換を実施している。（会長）
    - ・1 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性について、106 急行バスとなっている。資料3では106 特急バスの表記となっているため、統一した方がよいのではないか。（委

員)

→106 特急バスに統一することとする。(事務局)

- (3) 協議事項ウ 門馬共助型交通(自家用有償旅客運送)の登録変更について  
事務局より資料3に基づき説明。

【意見・質問】

・盛岡方面への106 特急バスへの接続は黒沢バス停において確保されているため、今回新たに運賃設定をするやまびこ館は宮古方面への接続を目的としているということによいか。(委員)

→そのとおりである。(事務局)

- (4) 報告事項ア 中学生フリー定期券交付実証事業について  
事務局より資料4に基づき説明。進捗状況について報告した。

【意見・質問等】

・区間内は無料ということによいか。通学限定など条件があるのか。(委員)

→宮古市内については無料となっている。ただし、市内から市外に移動する場合は運賃が発生する。106 特急バスを利用する場合は、宮古方面から黒沢バス停までは無料だが、黒沢バス停から盛岡方面は運賃が発生する。(事務局)